



第45回中小企業団体愛知県大会並びに愛知県中小企業団体中央会創立四十周年記念式典中小企業創業支援フォーラム'96

平成八年十月十一日

愛知県中小企業センター

中央会では創立四十周年記念式典に先立ち中小企業創業支援フォーラムを開催した。

フォーラムはテレビでもおなじみの東海総合研究所社長の水谷研治氏が基調講演をされ

その後パネルディスカッションが行われた。水谷氏は景気は緩やかな回復の兆しが見え初めてから三年になるが売上げは上がらなく



県合 組 昭 和 区 6
金 工 業 昭 和 区 6
板 金 工 業 昭 和 区 6
名 古 屋 市 昭 和 区 6
北 山 町 3-8-1226
電 話 732-1226
発 行 報 告 委 員 会

愛知県の企業が多いがそれは合理化やリストラ(減量経営とか陳腐化した事業分野からの撤退・企業再構築を言う)を進めたからであり合理化やリストラを進めれば何かをカットしたりし

わ寄せが来る。大企業は儲かっているが中小企業はまだまだ倒産が続くであろう、中小企業は新しいことにチャレンジして右肩上がりの経営を、特殊性を持たせて他には出来ない特

カワサキコーポレーション(株)社長河崎省三氏(四八)は二一才の時七万円を持って徳島から出てきた。事業を始めるにあたり中古の軽自動車を買ひゴルフ場にかかわる事業をやる、世話になった人には迷惑をかけない、下



別な事をやらなければ生き残れないと講演された。パネルディスカッションでは四名のパネリストによる事業成功

例が発表された。(株)東海メデイカルプロダクツ社長筒井宣政氏は人工心臓に使う人工血管を開発、製造販売で世界一の品質を誇っているそうで、これはまな娘が先天性の心臓疾患を抱えていて

そのことが医療器具の研究開発につながり人工心臓を開発する過程の副産物として出来た。心臓の拍動に合わせて血液ポンプの役割を果たす医療器具である。

算の大幅増大、振興・育成策の強化、制の技術的改良

動管理を提案している。(株)吉見製作所吉見幸

春氏は二代目社長で父が下請け八十%のステンレス加工販売を行っていた、幸春氏は大同特殊鋼に勤務していたが父のあとを継いで社長になった。親会社が

移転することでカットされることになり自社製品を創り下請けからの脱皮を図る。大同特殊鋼と共同開発で形状記憶合金で釣りの研究開発を行い釣りの雑誌で紹介されたのが

福井酒造(株)社長赤井知久氏は日本酒業界では、杜氏の高齢化と後継者不足が課題となっており、福井酒造(株)は異業種交流で杜氏の職人わざの機械化、自動化に挑戦

が意見発表をされた。

平成四年十二月に労働基準法の改正がなされ週所定労働時間を四十四時間から四十時間に移行する事が決定された。その猶予期間も

来年四月以降は中小企業も一律に週四十時間とされているが今日の経営環境の中では賃金を押さえない限りコストアップになり、かつ

短は大変困難である。従って今後も小規模な商業、サービス業に対する四十六時間の特別措置を維持し時短が困難な業種で小規模な事業所も特別措置に含めると共に猶予期間の延長の措置を是非講じていただきたいと要望する意見発表された。

温かさがある。

今年は名古屋まつりが十月十一日から十五日までの五日間で職人展は一週間で四日から六日までの三日日間開催された。

会場では尾張名古屋の職人の「技」による作品展示、製作過程の実演、相談などを行っている。

愛知県板金工業組合では名古屋ブロックの名古屋板金連合会(村上 章会長)が例年の行事に参加をしている。今出のものに加えて熱田南支部小池正利

氏(小池工業(株))の作品で大きさが60cm x 1mと大きな立派なレリーフであった。実演コーナーは今回メーカーの雨樋及び金属サイディングのサンプルの展示とカタログの配布を行い実演は準備が間に合わず最終日の6日の日曜日にわずかに

今年のはなげか活気に満ちていて来場者は一万五千名が入場があり、相談コーナーにも色々々も色々々な相談が持ち込まれたり問い合わせがあった。

カタログも沢山配布することができた。しかし、来場者の中にはやはり、実演や何か即売して欲しいという声が何度か聞かれた三日間通して実演出来る人がいればいいのだが、来年は一文字書きの実演か銅細工品の即売を出来ることが課題であると思う。

報告 驚見

第42回名古屋まつり協賛事業
の道むすい
屋張名古屋の
職人展

板金業界・二十一世紀の繁栄の役割を担うのは「責任施工保証制度」

将来を見据えて何事も人より先に一歩前進。

一足早く「保証制度」に取り組もう、そして他社に繁栄の差をつけよう。

生業から企業経営への体質改善は仲間作りが最善策。

☆ 先月号に掲載した第一回では「ビジョン型責任施工」について説明をした。続いて「責任施工保証制度」の仕組みや目的について細部までの説明をして理解を求める予定であったが、各事業所が保証制度に一日でも早く取組をされるよう、今回は順序を変更して実際の取組み方を掲載することにした。

① 「責任施工保証制度」の対象工事にするにはどうすればいいの

か」 原則は施主工務店など発注者に愛知県板金保証事業を進めている事をPRする。(PR用パンフレットは早

急に作成の予定)発注者から保証書の要望があれば当然に保証対象工事になる。しかし愛知県板が進める保証事業が一般に浸透していない現在では理解されにくいと思われるから手取り早く対象工事にするには発注者に相談せずに、工事者が自分の判断で「屋根・外

『責任施工保証制度』

〈保証事業委員会〉

◎ 保証対象工事は

「鋼板製屋根工法標準制度」の四講習を受講して「保証制度適用の店」の看板を有する組合員が施工資格を得るそれに満たない者は保証工事は出来ない。

③ 「中間・完成検査」

◎ 保証工事中の中間・完成検査は「自主検査」が原則である。自主検査により各自の責任の度合いはより高いものなる。実際の検査は県板に用意されている検査マニュアルに沿って行う。検査資料と工事写真は各自で保存されたい。なお大型保証工事は検査員による検査が原則である。(検査費用は工事者負担となる)

④ 「保証書の申請」

◎ 保証工事が完了したら保証書申請用紙に必要事項を記入して県板へ送付する。約一週間位で保証書が発行され郵送されて来る。(申請用紙は県板に用意されている。なお次回からはコピーして使用されたい)

● 記入の内容

施工者の事業所名・住所・氏名、工事名、工事場所、発注者、保証

品目(屋根外壁雨樋)

建物の用途・構造、施工面積、使用材料・品目・メーカー名・板厚・色・購入先、着工日・完成日、誓約書一通(初回だけ)

⑤ 保証期間

◎ 保証期間は保険の期間と同じである。屋根の防水一五年、外壁の防水一五年、雨 樋一二年

⑥ 保険料

屋根工事(一㎡当り) 三〇〇円まで 八円、三〇〇㎡以上一〇〇〇㎡まで 六円、外壁工事(一㎡当り) 一〇〇〇㎡まで 五円、雨樋工事(一m当り) 一mにつき 四円、手数料 初回 三千元 二回目以降 千五百円

● 例えば一〇〇㎡の

屋根工事の場合、保険料は八〇〇円と手数料千五百円で二千三百円となる。保険料に付いては、発注者に支払いを求める事は難しいと思われるし、たいして大きな金額でもなければ見積の段階で諸経費か雑費の中に見込んでおくといふ。いずれにしても責任施工保証制度の意味合から、保険料は施工者負担が今後

のために効果的である。

⑦ 保険料の支払い ◎ 県板から保証書が郵送される中に保証料の請求書が同封されて来るのですみやかに納入された。 *

以上大まかに保証対象工事の取組みの順序を記したが理解出来ない部分も多いと思われるので左記の相談窓口に進んで問い合わせをされたい。

▽相談窓口

TEL(0569) 3710230 FAX(0569) 3711001 全板連保証委員会 齋藤

訓練校関係者会議

愛知県内には建築板金を有する訓練校が五校あり、それぞれ違う組織団体が運営し独自の訓練を実施している。そこで横のつながりを密にし、お互いの訓練内容を発表し合い、情報を交換する良い機会となった。会議には各訓練校より12名の役員及び講師が出席し、県板からは平野理事長と吉田事務局長が加わった。まず理事長が挨拶の中で次の様に述べられた。「毎年、県板の事業計画の一つに職業訓練対策の強化を掲げているが、今まで訓練事業にあまり関与してこなかった。今後は何らかの方法でもっと協力してゆきたい」

続いて、愛知県板金技能専門学校校長であり全板連第2部会(訓練担当部会)の委員を務める長谷川信俊氏が座長となり次の議事が話し合われた。

①各訓練校の概況 ②訓練校の在り方 ③建設産業共同訓練 ④その他 ②の中では「訓練内容と実際の建築板金の作業内容がかなり違っている。これを改善する為に全板連が積極的に関係省庁に働きかけてもらいたい。」という意見で一致した。 会議終了後訓練に関するさまざまな問題点が、ざっくばらんに話し合われた。 高橋

新年懇親会のご案内

平成九年の新年懇親会は西三板金連合会の担当で開催されます。多数のご参加をさせていただきますようお願いいたします。

- ◆開催日時 平成9年1月19日(日) 午前11時 受付開始 正午 開宴
- ◆場所 三谷温泉「ひがきホテル」 蒲郡市三谷町南山1-59 TEL0533(69)4111(代)
- ◆会費 ¥12,000※
- ◆申込み 支部長まで会費を添えて申込み下さい。
- ◆切 平成9年1月9日
- ◆交通手段 JR東海道線「三河三谷」下車 送迎バス有 名古屋駅より快速にて約45分。新快速は蒲郡にて乗り替え次の駅20分間隔位で電車が有ります。 自家用車では東名「音羽蒲郡IC」より有料道路にて約20分

▼新問屋シリーズ▲

愛知県垂鉛鉄板問屋会
会員会社紹介

創業 承応四年(1655)なんと江戸時代である。

徳川四代将軍家綱の時代に創業され今日まで営々三四〇余年営まれた問屋さんがある。今回はその商社さんを紹介する。

第四回 太田商事株式会社

太田商事の創業は承応四年の江戸時代(千六百〇千八百六十七)である。江戸時代は徳川家康から慶喜まで十五代約二百六十年続いたその四代将軍家綱の時代に現在の太田保社長(六十六才)の先祖初代太田和泉守牧陰の孫三代目太田徳右衛門陰氏が刈谷の地で酒造を始めたのが起りであり実に今年で三十四一年になる。

いろいろ、酒や米にあるいは油などを手広く扱い享保六年には刈谷藩の御用達にもなる。明治十三年殖産会社創立、明治二十三年には名古屋主税町製糸所創設、三十年泉合資会社設立、製糸はもとより紙、小麦、製袋、肥料などの製造販売を行う。明治四十年には石油貯蔵所を設置、日本石油と特約販売契約締結。大正三年に合資会社太田商店創立。



大正十年には太田商事株式会社を改組。昭和に入り砂糖、小麦粉等の取り扱いを廃止するものの給油所は刈谷、岡崎、安城と店舗を増していく。戦後は石油部と金物部を分離、現況に復帰する。昭和三十六年に鋼材重量物倉庫が完成続いて鋼材倉庫も第二第三

と完成、豊橋にも相次いで倉庫が完成している。昭和四十四年に本社社屋と社宅が完成、豊橋営業所は現在地に拡張移転する。

平成三年に会社創立七十周年を迎え株式会社オテーイーエーを設立、本社事務所をO T Aビルに移転して現在に至る。

会社の組織は住設建材・鉄鋼建材・石油の三営業本部を中核に二十八のセクションからなり、住設建材部はアルミサッシを始め各種アルミ部材や門扉、フェンス等の設計加工、また一般建築用ステンレス建材の折曲・溶接加工まですべてを施工している。

鋼材部は鉄鋼一次製品全般を扱い私たちの材料である鉄鋼二次製品は金物建材部がルーフレッキから浪板や角根材、外装材を幅広く供給している。現在、刈谷本社と豊橋営業所に薄板加工部門があるが建物老朽化、成型加工品種の増加などにより現在の工場では対応しきれない。お得意さまにより充実した良い製品をお届けするべ

く成型加工工場を来春岡崎へ移転することが決定している。また開発工事部では鉄骨工事から住宅建築までの建築工事全般を請け負っている。

石油部門は給油所を刈谷を始め、安城、岡崎、豊橋、知立、名古屋の各地に會わせて十七カ所のガソリンスタンドがある。

また自動車整備課では自動車を知り尽くしたスタッフが最先端の技術で地域に密着したサービスと車検整備から各種損害保険までを取り扱っている。社員の福利厚生にはもっとも力を入れ快適で安心できる暮らしを3支援助し、個々の人生設計のための、経済面、精神面への配慮。社員を支える家族にも利用してもらええる娯楽施設の充実を考え、ロイヤルホテルのメンバーズで全国のロイヤルホテルが利用できる。レ

平成8年10月8日(火)に豊田佐吉館(マハの見学。名古屋地区は地下鉄本郷駅前、三河地区はアイシン精機(株)バス発着所から集合出発、東名高速赤塚パーキングにて、バス3台待ち合せ、東三から、菅沼さんと小生は赤塚パーキングから乗生、初めに出席した小生、バス3台、10名で聞き、いささか驚きで聞き、菅沼さんと一緒に為安心だが、バスに乗り、副理事長はじめ、何人かは今までにお会いした同業者の方々の顔を見て内心ホッとしたり。雨の中一路湖西市

見学研修会

愛知県職業能力開発協会

技術で地域に密着したサービスと車検整備から各種損害保険までを取り扱っている。社員の福利厚生にはもっとも力を入れ快適で安心できる暮らしを3支援助し、個々の人生設計のための、経済面、精神面への配慮。社員を支える家族にも利用してもらええる娯楽施設の充実を考え、ロイヤルホテルのメンバーズで全国のロイヤルホテルが利用できる。レ

グランドピアノの製作行程の一部しか見学できない事、等々を聞き、まず私も疑問に思っていたヤマハの屋号は創業者の名前と知った。元山葉寅楠だそう。元は医療機械技術師だったが、アメリカ製のオルガンの修理を依頼されたのがヤマハの出発点だと知り、人生とは面白いものと思う。いろいろ説明を受け工場見学。「自動打鍵機」もあるがピアノ製作は職人によって支えられる事によって支えられる事によって実感した。こもしくかり、一度は見ておくべきだ大変参考になった。それよりも、トヨタ、ヤマハを見て思ったのは、地域性です。世界のトヨタはじめ、世界に通用する

大正三年合資会社 大正十年株式会社に改組 営業所(金物部として) 豊橋市下地町新道二十九番地 代表取締役 太田 保 資本金 四千八百万円 従業員 男子二百十名 女子 七十名 合計 二百八十名 取引先(建材部門) 西三河、東三河を中心に建築板金業者、金物業者約六百社 以上 驚見

東三 吉田

支部だより

『地域住民に密着 産業まつりに 積極的参加』

積極的参加



産業まつりも年々盛大な催しとなり、今年度は去る10月26、27日の2日間、知多市に於いて実行された。

秋も深まり、絶好の季節、それぞれの地区に於いては、色彩艶やかな木々、紅葉を感じさせる光景が覗かれ、心が和わらぐ気持ち一杯です。これらに因み、進出企業の生産物を中心に、地域に於いて生産された農産物の即売会の実施と実現を試み大盛況となった。



老若男女から「チビッ子に至るまで愛好されている銅板彫刻（レリフ）の製作を準備、数多くの原画を準備、入場者による手細工、出来栄はプロ顔負けの描写、人気は上々両方共予定数量をオーバーし、担当係員は指導と準備に大わらわ、一息入れる暇もなく汗だく、時折り他の部門を観覧

していた時、入場者の年配の主婦の方々は、帰りは「チリトリ」を買って帰らねばと、会話が耳に入った。毎回の奉仕で入場者には、地域の板金屋さんの活

東三青年部勉強会

元CBCアナウンサー

草柳伸一氏講演会

10月20日青年部主催の勉強会がありました。皆様ご存じ、元CBCアナウンサー氏です。落語でも有名で「自裂亭、助」の芸名もおもちです。年一回豊橋公会堂で主催されています。

動がイメージが強く、良く理解して頂いている様で好感を持たれた。これらの催しが盛況だった事に對し、主催者側よりお褒めの言葉を頂いたとの事、ご苦

労さまでした。これからも地元に着した奉仕活動を、絶やすことなく、親しまれるパートナーとして永遠にと願うものです。沼澤

氏に会うたび学識の広さに驚くばかりです。30名しか入らない会場に、自裂亭、助氏は舞台衣装で入場、一瞬どよめき。河田部長の挨拶と紹介が始まり、題目は「礼儀」ですが、衣装と氏のイメージから、軟らかい話かと思いきや、何の何の、氏は昭和9年横浜生まれ、生い立ちも幼年期より少年期と疎開先での「いじめ」のすごさ、戦争体験も昭和20年8月15日を境に大人と教育の変わり様も少年期に酒に酔ったアメリカ兵のジープに乗せられ売春宿まで案内させられた

の始まりと、鬼気しに迫る前半の講演を締め括られた。氏の話の中で、強烈にショックを受けた事は、昭和16年、20年までの戦争による犠牲者の数は軍人、民間人含め三五〇万の数字、しかし、日本人が殺した人数を聞いて、もっとショックでした。その数なんと二〇〇〇万人。この数字は絶対

に後世に伝えるべきと思う。中学高校の教科書で都合の悪い事は削除しようとする節があるように感じてならない。私もインドネシアの研修生を受け入れているが、インドネシアの中

10月各支部の動き

昭和支部	8日	支部例会	12名
瑞穂支部	1日	定例会	18名
中支部	5日	支部会	15名
中川港支部	7日	青年部定例会	
	25日	支部定例会	
名古屋板金連合会	4、5、6日	尾張名古屋職人展	
春日井支部	8日	定例会	17名
	13日	まつたけ狩り	
津島支部	23日	役員会	4名
豊田支部	5日	定例会	16名
	12日	第7回役員会	
碧南支部	24日	青年部定例会	
	31日	支部三役会	
西三板金連合会	7日	幹事会	30名
	19日	役員会及び監査会	10名
東三支部	2日	定例会	24名
	9日	青年部定例会	
	20日	青年部勉強会	
		講師 元CBCアナウンサー	
	22日	会計監査	
	25日	三役会	

編集後記

頭を垂れる 稲穂かな
先ほどの衆院総選挙。まもなく新政権の誕生と思われるが、新たに導入された選挙制度、「小選挙区比例代表連立制」はさまざまな問題を提起した。特に重複立候補には不満や批判が続出である。もともと小選挙区制と比例代表制は別々の選挙方式で共に一長一短があるのだが今回二つを結び付けた事で無理と矛盾を生じる結果となった。いつもの事ながら選挙運動中は平身低頭笑顔満面馴れ馴れしい態度がセンセイになった途端態度は一変偉い人になる。以前、愛板にも何時の間にか俺が大将になってしまった事務局員が居たものだが、いざいざしても各党が大合唱した公約が無責任な口約で済まされる様な厳しく見守るのが選挙民の義務である。思い上がり
身のほど忘れて
そり返る
十月三十一日(木)晴
三十一号編集会議
委員 五名 出席
午後五時半終了(S)